

ユニタール(国連訓練調査研究所)広島事務所は、平成15年に開設された中四国地方で唯一の国連機関。アジア太平洋地域の開発途上国のニーズに応じたテーマで、年間6つの研修プログラムを実施しています。県は、ユニタール広島事務所の活動を支援し、人材育成を通じて国際社会の平和に貢献しています。

ユニタール広島事務所の成果や広島県とのかわりについて、ナスリーン・アジミ所長に聞きました。

**Q** これまでの成果を教えてください

ユニタール広島事務所は、国連の中でも規模が小さく、開設してまだ3年ですが、質の高い研修プログラムを実施することとアジア太平洋地域での認知度は高まっています。これまでに実施した21回の研修プログラムには、約800人が参加していますが、応募者は研修を重ねることに増えるなど成果が上がっています。

また、県内の機関や企業、ボランティア団体などには視察などでご協力をいただいていますし、広島大学からは講師の派遣をしていただいています。徐々にですが、広島での組織的な協力体制が強められつつあります。



ユニタール広島事務所  
ナスリーン・アジミ所長

**Q** 特に力を入れているプログラムは?

すべてのプログラムが重要ですが、「アフガニスタン奨学プロジェクト」は、最も複雑で、かつ緊急性の高いものといえます。アフガニスタンなど紛争からの復興の途上にある国は、本当に多くの課題を抱えています。このプログラムでは、約1年をかけ、同国政府関係者の能力開発を実施しています。

ユニタールが行っている支援は、ゆっくりとですが、着実に浸透しつつあるものと確信しています。

**Q** 活動拠点が広島にあることのメリットや意義は?

世界中の誰もが「HIROS HIMA」を知っています。広



島が平和を語る時、世界の人は耳を傾けます。研修では、毎回、平和記念公園と資料館の視察を組み込んでいますが、視察を終えて「核に対する考え方がまったく変わってしまった」という参加者もいます。

広島は破壊と復興のシンボルであり、緑豊かな現在の広島島の姿は、復興の途上にある国の人々に希望を与えます。広島が発信する平和と復興のメッセージの重要性は、今後ますます大きくなっていくでしょう。そこに、ユニタールが広島で活動をする意義もあると考えています。

私たちの世代の責任は、人種や宗教、民族的な違いを超えて、平和のメッセージを未来につなぐこと。日々の生活の中でも平和のメッセージとなる機会はたくさんあると思います。一緒に頑張りましょう。

誰でも参加OK! ユニタール・ラウンドテーブル(公開講座) <http://www.unitar.org/hiroshima/jp/>

政治、経済、科学や芸術などのテーマで国際的に著名な識者が講演する県民向けの参加型行事です。申し込み方法など詳しくはホームページをご覧ください。